

米国 NY連銀管轄地区製造業の緩やかな拡大を示唆 (06年8月NY連銀製造業景気指数)

発表日：06年8月15日(火)

～設備投資見通しは高い水準に～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : sei.ji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

NY連銀製造業景気指数の推移

	総合	新規受注	出荷	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	販売価格	週平均就業時間
06/01	20.12	27.19	31.99	11.29	-12.33	1.37	2.70	46.58	27.40	11.71
06/02	21.02	27.14	32.22	5.99	-2.80	2.80	3.76	53.27	21.50	5.47
06/03	29.03	26.99	36.50	20.08	8.55	9.40	13.22	39.32	12.82	23.61
06/04	15.81	14.11	14.00	17.41	1.61	1.61	-2.90	37.90	14.52	5.44
06/05	12.94	16.22	17.08	9.70	1.63	7.32	2.84	43.09	14.63	9.42
06/06	29.01	25.81	30.32	5.12	-9.09	5.79	9.44	52.89	19.01	11.28
06/07	16.58	11.30	12.31	6.38	-12.84	4.59	4.02	50.46	16.51	9.54
06/08	10.34	19.12	14.78	6.50	-9.92	1.65	-7.38	44.63	14.88	13.66

NY連銀製造業景気指数(6ヵ月先予測)の推移

	総合	新規受注	出荷	雇用	在庫	入荷遅延	受注残	仕入価格	販売価格	週平均就業時間	設備投資
06/01	47.56	51.29	47.59	33.31	-4.11	-5.48	9.87	61.64	35.62	17.02	31.51
06/02	38.41	47.98	48.49	29.43	-2.80	10.28	8.66	57.01	27.10	17.25	41.12
06/03	38.08	31.33	36.72	22.98	-5.98	-1.71	-0.47	49.57	26.50	12.41	37.61
06/04	42.65	43.78	43.21	22.49	-4.84	6.45	1.96	50.00	25.81	13.94	37.90
06/05	30.17	36.21	32.68	22.53	-4.88	-0.81	4.73	59.35	32.52	4.55	32.52
06/06	33.66	34.14	28.84	13.09	-2.50	-1.67	4.28	62.50	35.83	4.63	20.00
06/07	44.99	44.14	40.81	19.17	-11.93	-1.83	8.60	60.55	36.70	9.04	22.02
06/08	35.20	38.19	36.83	20.11	-1.65	-9.09	0.70	55.37	34.71	9.42	26.45

前月比6.24ポイント低下

06年8月のNY連銀製造業景気指数(NY連銀管轄地区の製造業の動向を示す)は10.34と前月から6.24ポイント低下し市場予想の15.0を下回った。ただし、新規受注、出荷、雇用が上昇しており、ヘッドラインが示すよりも良好な内容だった。また、月次での変動が大きいいため3ヵ月移動平均でみると、足下でも総合、新規受注ともに安定しており同地区製造業部門が緩やかな拡大基調を維持していると判断される(下記グラフ参照)。

8月の同地区生産の拡大が見込まれる

個別にみると、出荷が+14.78(前月+12.31)とプラス幅を拡大したものの在庫指数は▲9.92(同▲12.84)とマイナス幅を縮小させた。さらに、新規受注指数が+19.12(同+11.30)と上昇したことから、NY連銀管轄地区での生産拡大が示唆される。一方、雇用関連では雇用指数が+6.50(同+6.38)と小幅上昇しており8月の同地区製造業雇用は緩やかな拡大が続くとみられる。

企業収益面では、仕入れ価格が+44.63(前月+50.46)とプラス幅が縮小した。一時的にエネルギー、商品価格が下落した影響が表れたとみられる。しかし、エネルギー、商品が再び上昇していることから、仕入れ価格指数も今後上昇すると予想される。一方で、販売価格のプラス幅も低下したため、交易条件は小幅改善にとどまっている。引き続き企業のコスト削減圧力の強い状態が持続している。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

先行きに楽観的であり予想される生産の鈍化も小幅なものにとどまるとみられている

6ヵ月先予測では、総合指数は前月から低下したものの、高い水準を維持しており先行きに対して楽観的な見方が強い。新規受注の「増加を見込んでいる割合」、出荷の「増加を見込んでいる割合」、受注残の「増加を見込んでいる割合」が低下していることから、生産の拡大ペース鈍化を示唆しているが、水準が高く大幅な鈍化は予想されていない。

収益面では「販売価格の上昇を見込む割合」の低下ペースを「仕入れ価格の上昇を見込んでいる割合」が若干上回っていることから先行き交易条件の小幅改善が予想されている。

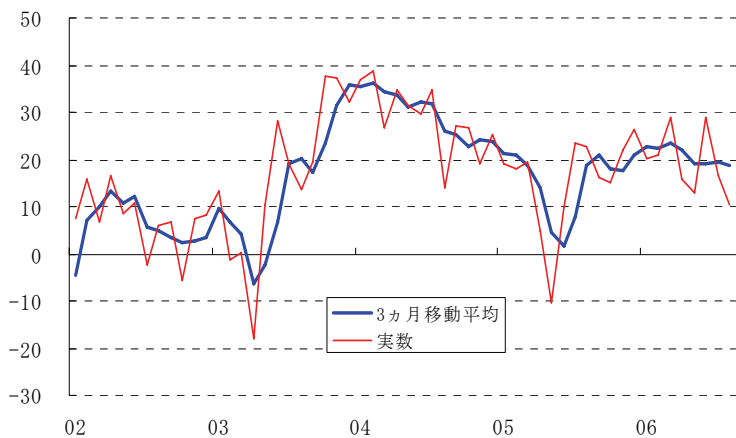
このような中、在庫は減少が予想されているように、今後も在庫の積み増しに慎重な姿勢を維持するとみられる。一方で、「週平均就業時間の増加を見込んでいる割合」のプラス幅が上昇したうえで、「雇用者数の増加を見込んでいる割合」のプラス幅が拡大したことから、製造業雇用が拡大する可能性がある。

以上のように、交易条件の大幅な改善が見込み難いもと、コスト削減圧力に対しては、雇用よりも在庫の削減で行うとみられ、持続的な成長が期待できる状態になっている。

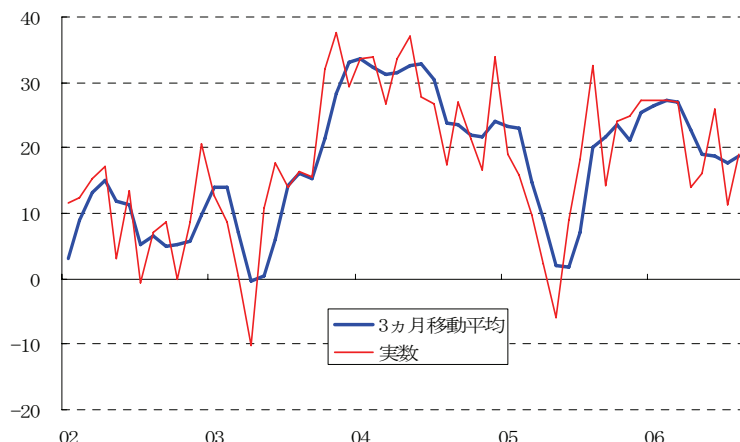
情報化投資を含む設備投資の堅調持続を示唆

設備投資計画は26.45と前月の22.02から上昇し高い水準となっていることから、2006年のNY連銀管轄地区製造業部門での設備投資は堅調さを維持する可能性が高い。ハイテク支出見通しは、高い水準を維持しており、今後も情報化投資が堅調さを維持すると予想される。

NY連銀製造景気指数の推移

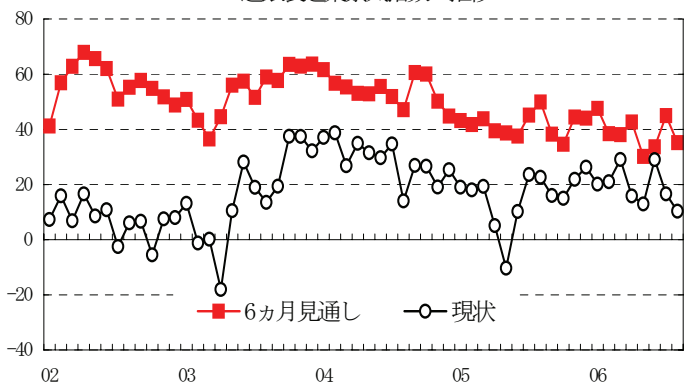


NY連銀製造新規受注D Iの推移

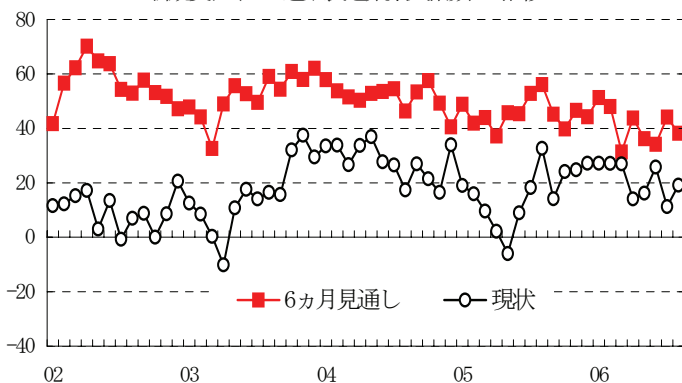


本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

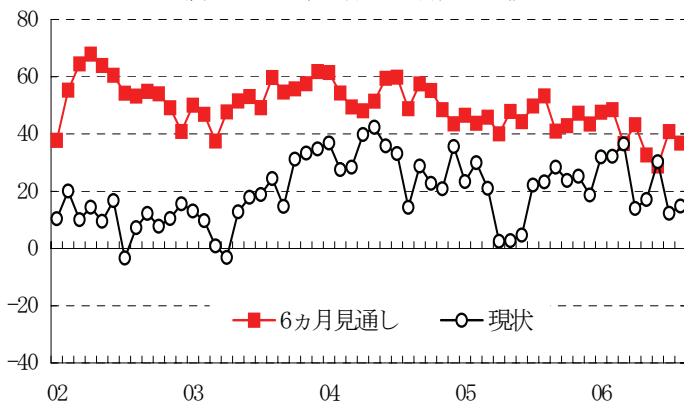
NY連銀製造業景気指数の推移



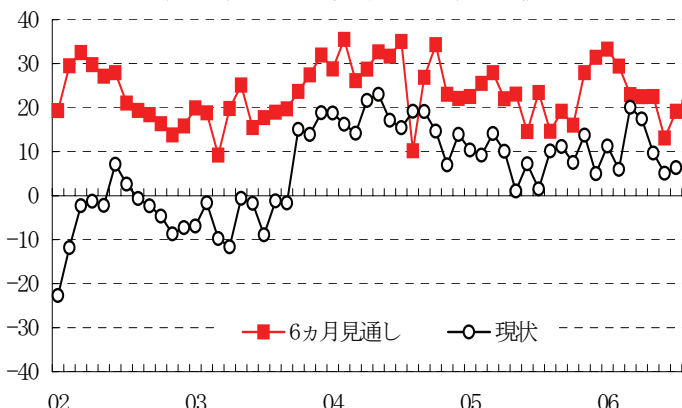
新規受注(NY連銀製造業景気指数)の推移



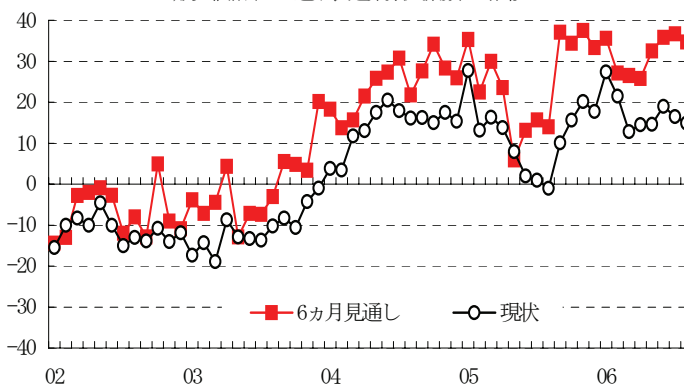
出荷(NY連銀製造業景気指数)の推移



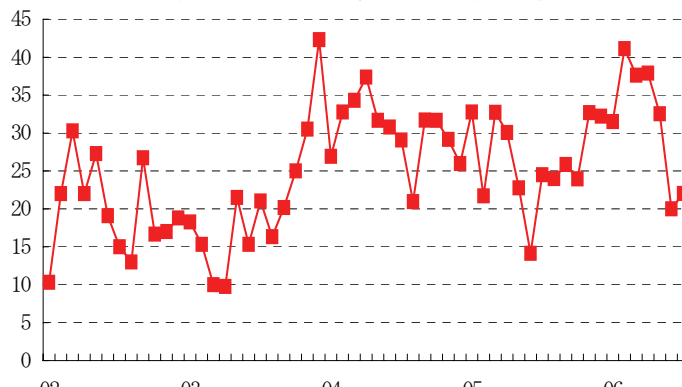
雇用指数(NY連銀製造業景気指数)の推移



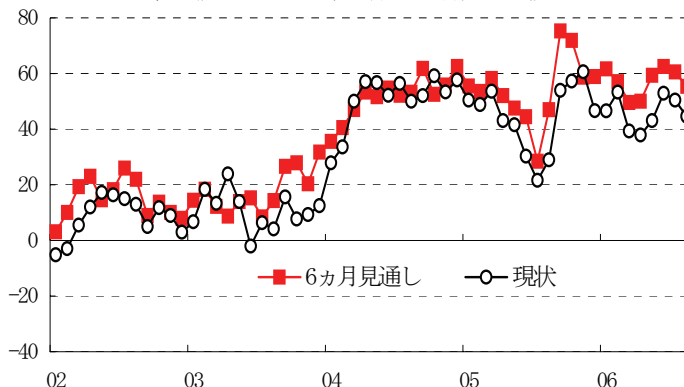
販売価格(NY連銀製造業景気指数)の推移



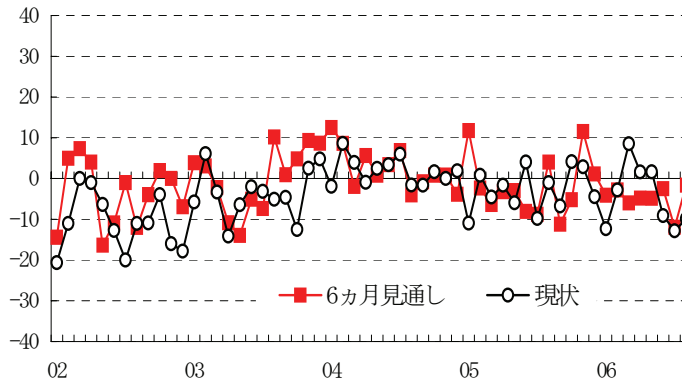
設備投資計画(NY連銀製造業景気指数)の推移



仕入価格(NY連銀製造業景気指数)の推移



在庫(NY連銀製造業景気指数)の推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。